

佐賀市学校部活動及び地域クラブ活動基本方針

資料 4

- ・市としての考え方・方向性・役割整理を示すもの
(学校部活動と地域クラブ活動の全体像)

▶【名称変更】「佐賀市立中学校部活動…」→「佐賀市学校部活動」

佐賀市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱

資料 5

- ・基本方針に示した地域クラブ活動の在り方を
具体的な制度・運用ルールとして整理したもの

▶【名称変更】「佐賀市地域クラブ認定要項」

→「佐賀市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱」

【2】 「検討部会」と「地域展開会議」の役割

検討部会

「基本方針」を中心に検討

- ▶ 当面は、学校部活動と地域クラブ活動が**併存**
- ▶ 「佐賀市立中学校に係る部活動の方針（H30）」の見直しが必要
- ▶ 「**佐賀モデル**」として、全中学校で部活動の質・量の適正化に取り組んできた経緯
- ▶ 地域展開を見据えた**最大の当事者は学校現場**

地域展開会議

「認定要綱」を中心に検討

- ▶ 「認定要綱」は、**地域クラブ活動の在り方を具体化する制度・運用ルール**
- ▶ **学校外主体が実施する活動**であり、**地域関係者・外部有識者の視点**が不可欠
- ▶ まず「認定要綱」で意見を得て、**その内容を「基本方針」に反映**する必要

【3】 「基本方針（案）」 検討部会で主に確認された論点

■ 学校部活動に関する整理

- ・活動時間の考え方（週8時間程度、特例的な扱い等）
- ・勤務時間内での実施を原則とする方向性の受け止め
- ・校長判断・裁量の位置づけ

■ 地域クラブ活動との接点

- ・学校と地域クラブの役割分担・責任所在の整理
- ・平日・休日の活動が併存する期間の考え方

■ 学校現場から見た懸念・確認事項

- ・学校施設の利用や連携の考え方
- ・種目特性への配慮の必要性

【3】 「基本方針（案）」 基本方針（案）のポイント

I 章 基本的な考え方・方向性

- ・佐賀市が目指す地域展開の姿
- ・改革期間と活動時間の考え方（R8～10段階的／R11原則勤務時間内）
- ・部活動と地域クラブの併存期間における留意点

II 章 学校部活動の在り方

- ・活動時間・休養日の基本的な考え方
- ・校長判断による特例的な調整
- ・合同部活動・拠点校等の取扱い

III 章 地域クラブ活動の在り方

- ・認定地域クラブの位置づけ
- ・運営主体・安全管理の責任整理
- ・学校との関係・連携の考え方

【3】「基本方針（案）」

● 学校関係者による検討部会で重視された視点

- 学校現場にとって、無理のない整理になっているか
- 地域展開後の、学校と地域との関わり方・関係性
- 併存期間（学校部活動と地域クラブ活動）の考え方が明確か

● 本日は意見を伺いたい視点

- 地域の立場から見て、基本方針として違和感はないか
- 学校と地域の関係性の整理は妥当か
- 地域クラブ活動が広がる前提として不足している視点はないか

【4】 「認定要綱」 前回からの変更点①

認定要綱 ▶ 自治体間で大きな差異が出ないよう、国ひな形をベースに整理

認定要件 ▶ 認定要綱第2条で7つに整理・・・詳細は様式第2号認定要件確認書へ

● 第1回地域展開会議(11/18)の意見

①対象は「市内中学生」のみか？ 間口を広げるため柔軟な表現を。

県外参加（福岡隣接など）をどうする？／大会出場要件の確認が必要

②「選抜型クラブにならないよう配慮」は曖昧で懸念。結果的に選抜的構造にならないように。

● 今回の修正対応

①要綱本文の断定を避け、確認書で募集対象者・募集対象区域を明示（p1、確認書①）

大会出場を目指す場合は出場要件確認を促す内容を、認定通知書留意事項に記載

②確認書①に※ 3を追記し、チェックする整理（p1、確認書①）

【4】 「認定要綱」 前回からの変更点②

認定要綱 ▶ 自治体間で大きな差異が出ないよう、国ひな形をベースに整理

認定要件 ▶ 認定要綱第2条で7つに整理・・・詳細は様式第2号認定要件確認書へ

● 第1回地域展開会議(11/18)の意見

③地域クラブの活動時間の上限は。上限超過の場合どう対応するのか。

④「低廉な会費」はいくら／持続可能性と矛盾／運動部と文化部を一括りにするのは困難

● 今回の修正対応

③要件として「学校部活動に準じた休養日・活動時間」を置き、逸脱時は是正

→取消し等も含めた制度運用を整理（p2第10条、様式第1号別紙、確認書②）

④要綱本文は国ひな型に揃えつつ、確認書③の表現に反映。（p1第2条、確認書③）

実際の把握は 様式第1号別紙（参加費・保険料等欄）で行う整理

【4】 「認定要綱」 前回からの変更点③

認定要綱 ▶ 自治体間で大きな差異が出ないよう、国ひな形をベースに整理

認定要件 ▶ 認定要綱第2条で7つに整理・・・詳細は様式第2号認定要件確認書へ

● 第1回地域展開会議(11/18)の意見

⑤「非営利」の線引きが難しい／誤解されやすい

⑥責任の所在をより明確に／クラブの問題も学校と共有・連携が必要

● 今回の修正対応

⑤ “営利を主たる目的とせず” という表現で整理（確認書⑥）

⑥責任はクラブ側を基本にしつつ、学校との連携・情報共有・説明責任等を要件・運用の中で整理。（様式第1号誓約書、確認書④・⑤・⑦、基本方針p12～16）

【4】 「認定要綱」 前回からの変更点④

認定要綱 ▶ 自治体間で大きな差異が出ないよう、国ひな形をベースに整理

認定要件 ▶ 認定要綱第2条で7つに整理・・・詳細は様式第2号認定要件確認書へ

● 第1回地域展開会議(11/18)の意見

- ⑦「3 クラブの類型」で類型を分ける必要があるか／認定要件に入れず説明用でよいのでは
- ⑧「10 支援措置」で広報支援を充実してほしい／「今後の制度設計」の項立ては不要では

● 今回の修正対応

- ⑦要綱本文で類型名は表記せず、学校部活動母体の把握等は、様式第1号申請書別紙で事実確認する運用へ。(様式第1号別紙に類型チェック欄追記)
- ⑧“認定＝市の支援を受けられる”趣旨が伝わるよう表記。(p1第12条、確認書⑦)

【4】 「認定要綱」 前回からの変更点⑤

● 第1回地域展開会議(11/18)時点の記載

- ⑨「8 危険負担」「9 運営費用負担」を項立て記載
 - ⑩「10 支援措置」で「重点支援」「施設利用」「今後の制度設計」を記載
 - ⑪「2 認定の要件 (1) ケ (2) ウ」で指導者の要件・留意事項を記載
-

● 今回の修正対応

- ⑨様式第1号_誓約書、確認書④、基本方針p13に類似内容記載のため削除
- ⑩申請時に別紙で類型を確認する形で整理（様式第1号別紙に学校長確認欄を追記）
- ⑪国認定要綱ひな形第2条3項で“指導者登録・研修を別途定める”とあるが、確認書④において「地域クラブの運営主体により登録・管理」と修正追記（ひな形第2条3項削除）